

(2) 森林研究センターにおける平成19年度試験研究課題一覧表

1 農林水産業の生産力向上

(1) 生産を高めるための栽培・飼育・繁殖・養殖等、千葉県独自の生産技術体系の開発

⑩ 農林作物の野生鳥獣被害対策軽減化技術の開発

1 森林・林業に対する獣類被害実態の解明と被害軽減化技術の検討 (18~21)

⑩ 特用林産物の安定生産の確立

2 きのこと栽培におけるキノコバエの被害防除技術の確立 (17~21)

3 地域性の高い山菜等の安定生産技術の開発 (18~19)

(2) 生産性向上を支える品種の改良開発

⑦ 林業用種苗の安定生産技術の確立

4 林業用優良品種の選抜と特性把握 (18~22)

5 マツノザイセンチュウ抵抗性マツの抵抗性評価 (環境保全型事業15~19)

6 森林の諸機能発揮に適した樹種の選抜 (18~22)

7 花粉の少ないヒノキの選抜 (13~22)

2 県民生活を守る環境に調和した農林水産業の推進

(1) 県民の暮らしを守る環境保全型農林業技術の開発

⑦ 芝草の無農薬管理技術の確立

8 きのことによる芝草病害に関する試験 (15~19)

⑩ スギ・ヒノキ花粉の飛散抑制技術の確立

9 スギ若齢林の間伐による花粉飛散抑制技術の確立 (19~22)

10 花粉飛散量予測技術の確立 (13~22)

11 植物成長調節剤等による花粉飛散量低減化法の開発 (18~19)

(2) バイオマス等の有効利用技術の開発

⑤ 地域資源・未利用資源のリサイクル技術の開発

12 木質バイオマスから生産される炭化物の用途開発 (16~21)

13 未利用木質バイオマスの利活用 (18~22)

14 資源循環型木材乾燥技術の開発 (18~19)

4 農林水産資源の維持増大とその持続的利用

(1) 農林水産資源の維持管理技術の開発

③ 多様な森林造成管理技術の確立

15 広葉樹林の多面的機能に関わる整備技術の確立 (18~19) *モニタリング課題に移行

16 長伐期化に対応した人工林管理技術の確立 (18~19) *モニタリング課題に移行

17 スギ・ケヤキ混交林によるケヤキ生産技術の確立 (18~19) *モニタリング課題に移行

18 マツノザイセンチュウ抵抗性マツによるマツ林の再生 (環境保全型事業15~19)

④ 森林の病虫害対策技術の確立

19 スギ微害林におけるスギカミキリの被害抑制技術の確立 (18~19)

20 アセタミプリド液剤を使用した減農薬松枯れ防止技術の確立 (環境保全型事業15~19)

21 天敵生物を利用したマツノマダラカミキリ駆除技術の開発 (環境保全型事業15~19)

22 浸透移行性薬剤を使用した塗布等による害虫防除技術の開発 (18~22)

23 マツノマダラカミキリ発生予察調査 (13~22)

(3) 有用遺伝資源・有用微生物の探索と利用

③ 木質廃棄物の分解技術の開発

- 24 有用微生物による木質廃棄物の分解技術の開発 (17～19)
- 5 消費者ニーズに対応した農林水産物生産・流通・加工システムの構築
 - (2) 食の安全・安心の確保と機能性を付与する技術開発
 - ⑥ 菌床きのこの安定生産技術の開発
 - 25 付加価値の高い菌床きのこの安定生産技術の開発 (15～22)
 - (3) 農林水産物の流通加工及び品質衛生管理技術の開発
 - ③ 県産材利用促進技術の開発
 - 26 県内における木材製品導入及び定着状況調査 (18～19)
 - 27 サンプスギ材の強度試験 (18～19)
- 6 県民の暮らしを豊かにする農林水産業の有する多面的機能の発揮
 - (1) 森林・農地・水域の持つ多面的機能の評価と維持増進技術の確立
 - ④ 森林の水土保全及び防災機能維持増進技術の確立
 - 28 海岸低湿地に造成した海岸防災林管理技術の確立 (16～22)
 - 29 海岸前砂丘へのクロマツ林造成技術の確立 (18～19) *モニタリング課題に移行
 - 30 海岸防災林に混生するニセアカシアの管理方法の検討 (18～22)
 - 31 マテバシイ林の山地保全型管理技術の確立 (16～19)
 - 32 地形及び地質に適合した法面緑化技術の確立 (16～19)
 - ⑤ 森林環境の保全及び森林の活用技術の開発
 - 33 里山の利用目的別整備技術の確立 (13～22)
 - 34 竹林拡大過程の解明と対策の検討 (19～21)
 - (2) 農山漁村の持つ保健休養・やすらぎ機能等の促進技術の開発
 - ③ 森林療法に効果的な森づくり技術の開発
 - 35 森林療法に効果的な森づくりの方向性の検討 (17～21)

その他

(モニタリング)

- 1 酸性雨等環境汚染の長期モニタリング調査
- 2 森林・樹木による環境モニタリング調査
- 3 臨海埋立地における環境保全林のモニタリング調査

(事業)

- 1 林木育種事業
- 2 森林吸収源インベントリ情報整備事業

注1) 1～6は県農林水産業試験研究推進方針(平成18年度～22年度)の基本目標、(1)～(3)は推進方針中の重点化の方向、①、②・・・は推進方針中の大課題

注2) 1～35は研究課題、()内は研究期間

(3) 平成19年度林業普及指導員の活動実績

(単位：時間)

区分	普及指導活動				調査研究	情報収集	連絡調整		普及指導の準備	普及指導関係の普 及係務報告 研究修講	その他	計	
	直接		間接 (電話等)	小計			試験研究・教育機関	市町村その他の関係機関					
	個別指導	集団指導											
計	3,827	3,513	813	8,153	327	1,205	289	938	4,447	658	1,188	3,547	20,752
普及対象別内訳	林家	2,723	908	407	4,038								
	会社等の事業体	176	428	35	639								
	市町村	177	28	88	293								
	森林組合	221	285	46	552								
	林研グループ	204	493	120	817								
	その他	326	1,371	117	1,814								

注) ・平成16年度の森林法改正により、平成17年4月から従来の林業専門技術員と林業改良指導員の資格が「林業普及指導員」に一元化された。

・平成19年度の林業普及指導職員数は、普及指導員10名、普及技術員1名の計11名である。

(4) 平成19年度林業普及指導職員を対象とした研修

研修の名称	目的等	対象者	人員	時期	場所	講師	研修等の内容
特技研修	原木シイタケ栽培の知識と技術の向上	林業普及指導員 林業普及技術員	10人	H19.05.21	県森林研 (山武市)	県森林研 石谷主幹	原木シイタケ栽培の知識と生産技術の実際
	森林整備の知識と技術の向上	林業普及技術員 林業普及指導員	10人	H19.07.06	県森林研 (山武市)	県森林研 福島主幹研究員	人工林の手入の知識と植栽・間伐作業の実際
	里山整備の知識と技術の向上	林業普及指導員 林業普及技術員	7人	H19.09 05・06	体験交流C (君津市)	体験交流C 芝崎所長 ちば里山C 森課長	木炭製造(ドラム缶焼き)技術の実際
	森林施業計画の作成指導	林業普及指導員 林業普及技術員	6人	H19.12.04 12・13 (3日間)	県森組君津支 所西栗倉会議 室	林務課 森田副主幹	森林施業計画の作成事務の実際
	里山林における環境教育及び木材流通の知識と技術の向上	林業普及指導員 林業普及技術員	10人	H20.02.18	県森林研 県木材市場協 同組合	県森林研 総谷研究員 小安木材市場 理事	里山林の観察方法 木材流通の現状と課題

(5) 千葉県のエ業を育てる会

回数	年度	視察研修先	内 容	参加者数
1	H 8	栃木県大田原市	間伐材加工、木材共販所	78名
2	H 9	愛知県額田町	林業経営、間伐施業	72名
3	H10	山梨県南部町	富士川林業地（林業経営、木材共販所、竹炭）	73名
4	H11	福島県いわき市	緑川平寿の林業経営	70名
5	H12	宮城県鳴子町、 山形県金山町	中新田エノキタケの生産及び高友林業100年の主伐 金山林業 間伐、山村活性化等森林組合の取組み	157名
6	H13	富山県立山町、 氷見市仏生寺	タテヤマスギ林業地（大スギ、長伐期複層林） ボカスギ林業地（さし穂林業）	85名
7	H14	群馬県利根郡利根村、 沼田市	高性能林業機械等視察、（林野庁 森林技術総合研修所 林業機械化センター） 菌床きのこ栽培技術研修（森産業（株）沼田工場）	71名
8	H15	長野県中野市、長野市	列状間伐（カラマツ） 北辰木材流通加工センター	71名
9	H16	静岡県天竜市 静岡県浜北市	天竜市森林組合（小径木加工場） 静岡県森林組合連合会（原木市場）	71名
10	H17	北海道千歳市	MH グルーラム協同組合（LVL） 千歳林業株式会社（低コスト林業経営）	41名
11	H18	埼玉県飯能市	西川林業（林業経営）、木工品製作・販売所、 木質ペレット製造施設	43名
12	H19	栃木県塩谷郡塩谷町、 同矢板市	（有）渡辺製材所 山縣農場、たかはら森林組合	28名

(6) 千葉県指導林家・林業士認定状況（平成20年3月末現在）

（単位：人）

普及指導区名	指 導 林 家	林 業 士	計	備 考
千 葉	7	9	16	女性1名（林業士）
東 葛 飾	1	1	2	女性1名（林業士）
印 旛	5	6	11	
香 取	1	5	6	
海 匝	1	3	4	女性1名（林業士）
山 武	6	13	19	女性1名（林業士）
長 生	7	4	11	女性1名（林業士）
夷 隅	6	7	13	女性1名（林業士）
安 房	8	8	16	女性1名（指導林家）
君 津	5	10	15	
計	47	66	113	

(7) 林業機械・器具の現況

番 号	機 械 種 名		備 考	単 位	地方公共	
					団 体	学 校
1-1	索 道	索道重量式		セット	0	0
1-2		索道動力式		セット	0	0
2-1	集 材 機	小型集材機	動力10ps未満	台	1	0
2-2		大型集材機	動力10ps以上	台	1	1
3	モノケーブル		ジグザク集材施設	台	0	1
4	リモコンウィンチ		リモコン、ラジコンによる可搬式木寄せ機	台	1	0
5	自走式搬器			台	2	0
6	モノレール		懸垂式含む	台	0	1
7-1	運 材 車		動力20ps未満のもの	台	0	0
7-2			動力20ps以上のもの	台	4	1
8-1	ホイールタイプトラクタ		林内で集材等の作業を行うホイールタイプのトラクタ	台	0	0
8-2	クローラタイプトラクタ		上記でクローラタイプのもの	台	0	0
9	育林用トラクタ		主として地拵え等の育林作業用	台	0	0
10	フォークリフト			台	4	0
11	フォークローダ			台	0	0
12-1	クレーン	運材機能なし	トラッククレーン、ホイールクレーン等	台	2	0
12-2		運材機能あり	クレーン付きトラック	台	0	1
13-1	グラップル	運材機能なし	グラップルローダ作業車	台	0	0
13-2		運材機能あり	グラップルローダ付きトラック	台	0	0
14	トラクタショベル		搬出、育林用等に係わる土工用	台	0	0
15	ショベル系掘削機械		搬出、育林用等に係わる土工用	台	0	0
16	チェーンソー			台	48	4
17	チェーンソーリモコン装置		リモコンチェーンソー架台	台	0	0
18	刈払機		携帯式刈払機	台	30	6
19	植穴堀機			台	0	1
20	動力枝打機		自動木登り式	台	3	1
21			背負い式等の上記以外のもの	台	0	0
22	苗畑用トラクタ			台	0	1
23	樹木粉碎機		伐倒木、伐根、枝条等を粉碎する機械	台	3	0
24	フェラーバンチャ		立木を伐倒、集積する自走式機械	台	0	0
25	スキッド		牽引式集材専用のトラクタ	台	0	0
26	プロセッサ		枝払い・玉切りする自走式機械	台	2	0
27	ハーバスタ		伐倒・枝払い・玉切りする自走機械	台	0	0
28	フォワーダ		積載式集材専用車両	台	1	0
29	タワーヤーダ		元柱を具備した自走式機械	台	2	0
30	スイングヤーダ		簡易索張方式に対応し、かつ旋回可能なブームを装備する集材機械	台	0	0
31	その他の高性能林業機械		従来の高性能林業機械上記7機種以外の高性能林業機械	台	0	0
32	グラップルソー		巻立・玉切り自走式機械	台	1	0

注) 対象の林業機械は、主として伐採、搬出、育林に使用されるもの。(製材工場で使用されるものは含まない。)

(平成19年3月31日現在)

所 有 区 分 別 数 量							
会 社	森林組合	その他組合等		集 落	研究機関	個 人	合 計
		支援センター	その他				
28	0	0	0	0	0	3	31
0	1	0	0	0	0	0	1
25	4	0	0	0	1	36	67
21	2	0	0	0	0	23	48
0	1	0	1	1	0	13	17
1	5	0	0	0	0	17	24
2	1	0	0	0	0	0	5
0	0	0	0	0	0	1	2
5	4	0	7	0	0	40	56
0	2	0	0	0	0	87	94
2	1	0	0	0	0	2	5
2	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	1	1
109	6	0	0	0	1	50	170
21	0	0	0	0	0	2	23
16	1	0	0	0	0	11	30
91	8	0	0	0	0	36	136
4	2	0	0	0	0	1	7
4	2	0	0	0	0	4	10
7	0	0	0	0	0	1	8
17	2	0	4	0	0	21	44
798	64	0	80	5	4	3,316	4,319
0	0	0	0	0	0	0	0
233	44	0	15	4	5	4,427	4,764
0	3	0	0	0	0	2	6
1	10	0	0	0	1	119	135
0	2	0	0	0	0	8	10
0	0	0	0	0	1	223	225
6	2	0	0	0	1	1	13
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	0	0	13
5	0	0	1	0	0	1	8

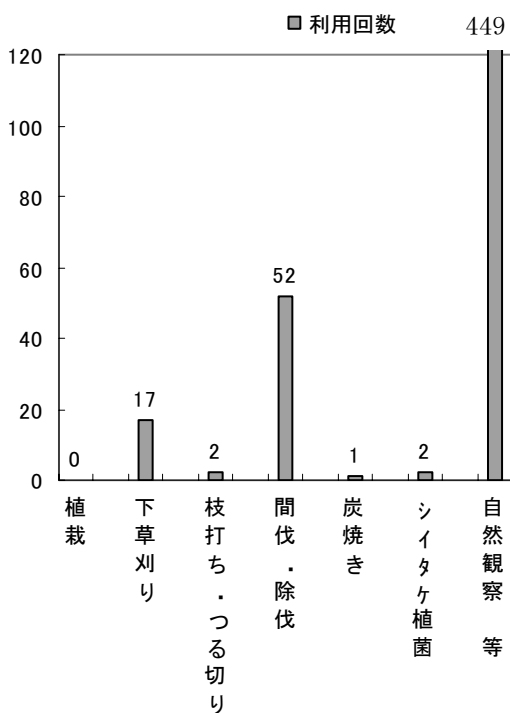
(8) 平成19年度教育の森の利用状況

(平成20年3月31日現在)

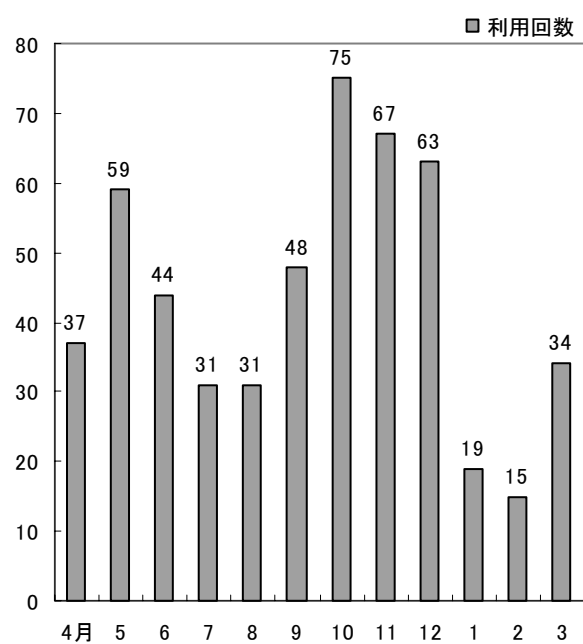
農林振興センター名	利用回数			利用人数		
	学校の利用	その他の利用	計	学校の利用	その他の利用	計
千 葉	0	343	343	0	1,641	1,641
東 葛 飾	0	13	13	0	233	233
印 旛	4	0	4	431	0	431
香 取	7	0	7	330	0	330
海 匝	2	1	3	80	90	170
山 武	5	17	22	269	380	649
長 生	2	16	18	106	456	562
夷 隅	13	0	13	1,664	0	1,664
安 房	0	6	6	0	41	41
君 津	94	0	94	3,378	0	3,378
計	127	396	523	6,258	2,841	9,099

- 注1) 学校の利用は主として授業時間での利用
 2) その他の利用とは1) 以外の利用を指す

【利用形態別内訳】



【月別利用実績】



(9) 教育の森の認定数

(平成20年3月31日現在)

農林振興 センター名	年度別認定数															
	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	累計
千葉	4	3	3	2	1	(4)	(3)	(3)	(2)	(1)	(3)	(3)	(3)	(2)	(1)	12
東葛飾	2	2	—	—	—	(2)	(2)				(2)	(2)				5
印旛	5	4	3	2	2	(5)	(4)	(2)	(1)	(2)	(4)	(3)	(2)			11
香取	4	6	2	1	—	(4)	(3)				(6)	(3)		(1)		10
海匝	3	3	—	2	1	(3)	(3)		(2)	(1)	(3)	(2)			1	8
山武	5	5	1	2	1	(4)	(5)		(1)	(1)	(5)	(6)		(2)	(1)	17
長生	5	5	3	2	1	(5)	(5)	(2)	(2)	(1)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)	14
夷隅	2	4	1	—	1	(1)	(3)	(1)		(1)	(1)	(1)	(1)		(2)	5
安房	5	5	2	2	1	(5)	(4)	(2)	(1)	(1)	(4)	(3)	(1)	(1)	(2)	11
君津	4	4	4	3	1	(4)	(4)	(4)	(3)	(1)	(6)	(5)	(4)	(3)	(1)	21
計	39	41	19	16	9	(37)	(36)	(14)	(12)	(9)	(38)	(31)	(13)	(11)	(8)	114
累計	39	80	99	115	124	125	124	120	119	121	124	117	115	113	114	

(10) 教育の森の利用実績の推移

農林振興 センター名	年度別利用回数							年度別利用人数						
	5~14	15	16	17	18	19	計	11~14	15	16	17	18	19	計
千葉	174	12	5	24	181	343	739	1,154	151	97	189	1,288	1,641	4,520
東葛飾	5	6	6	7	13	13	50	163	175	158	310	230	233	1,269
印旛	69	13	9	0	3	4	98	6,222	1,485	473	0	338	431	8,949
香取	13	1	1	5	6	7	33	100	100	10	223	210	330	973
海匝	19	2	0	1	1	3	26	261	20	0	10	15	170	476
山武	119	10	8	11	9	22	179	2,603	207	466	310	634	649	4,869
長生	20	14	17	21	20	18	110	869	420	510	616	666	562	3,643
夷隅	23	12	13	13	13	13	87	371	1,480	2,055	2,462	2,046	1,664	10,078
安房	24	2	14	11	9	6	66	609	12	135	127	102	41	1,026
君津	275	67	77	120	91	94	724	16,489	3,878	3,585	4,925	4,057	3,378	36,312
計	741	139	150	213	346	523	2,112	28,841	7,928	7,489	9,172	9,586	9,099	72,115

平成10年以前の利用人数はデータがなく不明。